

(株)ダイフレックス

<http://www.dyflex.co.jp/>

超速硬化ウレタン防水システム

GETシステム

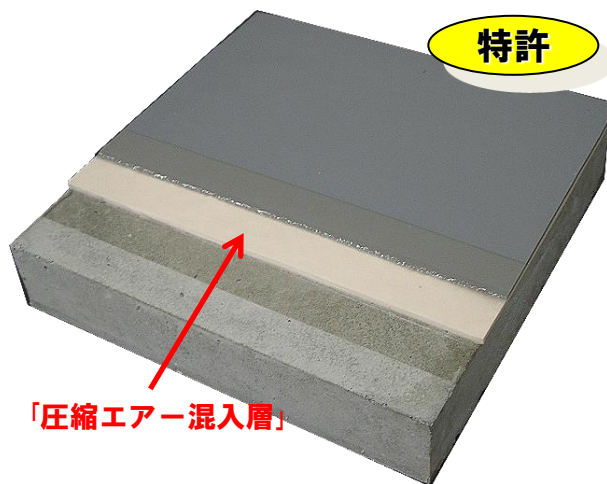
JIS A 6021 建築用塗膜防水材料 屋根用ウレタンゴム系高伸長形(旧1類)

低騒音

高反射

省工程

特許



「圧縮エア混入層」

超速硬化ウレタンを圧縮空気により微粒化し、多重衝突混合させて「防水層」を形成するシステムです

設計価格 ¥5,500 (材工)

標準仕様 屋上・露出アスファルト下地

工 法 G-OR-S(5mm)工法

適応部位 屋上・シングル屋根、スレート屋根等

<工 程>

※各種プライマー 0.2kg
②GET-1000 5.0mm
③エクセルトップ高反射 0.2kg

※現場の状況によりプライマーを塗布する場合があります。

※現場の状況により塗膜厚が増える場合があります。

(別途見積)

※現場の状況により下地処理をする場合があります。

従来の超速硬化ウレタン

比重1.0のウレタンを
2kg/m²塗布した場合



材料使用量が同じで
厚みが2倍に

ゲットシステム

比重0.5のウレタンを
2kg/m²塗布した場合



JIS A 6021 高伸長形(旧1類)の
規格値以上の物性を
確保しているから

従来の超速硬化ウレタンと
材料使用量が同じで

厚みが
UP

信頼性
UP

特長1

高い被覆性能(ピンホール抑制効果)

通常の塗布型ウレタンや超速硬化ウレタンは、下地に巣穴等がある場合ピンホールやへこみが発生しやすく、下地はポリマーセメント等で平滑な面をつくる必要があります。ゲットシステムは被覆性能に優れたため、平滑処理することなく防水層が形成できます。

従来の超速硬化ウレタン

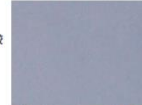
吹付け3回目の状態



ピンホールが発生

ゲットシステム

吹付け2回目で平滑



被覆性能が高く下地処理を
せずに防水施工が可能です。

表層が粗面な砂付アスファルト防水の改修も
平滑処理無しで施工が可能です。



特長2

優れた吸音性

クッション性があり、従来の
ウレタンやシートに比べ吸音
性に優れます。

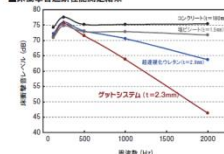


■試験方法 (JIS A 1418-1):
「建築物の音波響音断熱性能の測定方法」
【第一 標準重量法等による方法】より

■試験条件:

①コンクリート 1=180mm
②超速硬化ウレタン 比重1.0 1=2.0mm
③ゴットシステム 比重約0.5 1=2.3mm
④塩ビシート 1=1.5mm

■床面響音断熱性能測定結果



特長3

遮熱性能の付加

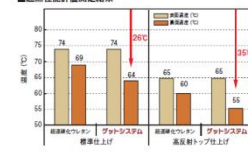
高反射トップコートと組合せ
た場合、圧縮空気により一層
の遮熱効果が得られます。



■試験方法 (自社評価):
試験体に太陽ランプを照射させて、所定の
表面温度を調整する。
空気を乾燥させてから、試験体の表面(裏面)
の温度を測定する。
測定温度: 30℃

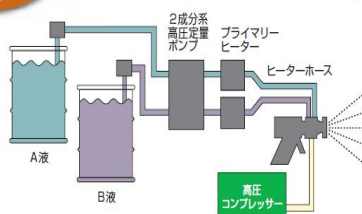
■試験条件:
①超速硬化ウレタン 比重1.0 厚み3mm
②ゴットシステム 比重約0.5 厚み3mm
同試験体から10cm以上離れた位置に太陽ランプを
照射し、高反射トップコート仕上げにて比較

■遮熱性能評価測定結果



新技術

圧縮空気混入吹付けシステム



特許取得: 「ウレタン防水材の施工法」特許第4377493号 特許第4252694号

■広がる適用用途



スレート屋根改修



シングル屋根改修



安全対策施設